

I 事業期間

2019年4月1日 ~ 2020年3月31日

II 事業の成果

NPO 法人を設立して9年が過ぎ、NPO 法人おおさかこども多文化センター(以下オコタック)としての知名度も上がり着実に実績作りがなされてきた。基本事業のひとつである「大阪府日本語教育学校支援事業」は9年度目を終了し、事業対象の府立高校のみならず、相談業務を通して小中学校、国際交流協会、自治体との信頼関係の構築を進めている。本年度も取り組んだ府内高校生による通訳案内ボランティア活動は昨年度から1校増え10校が参加した。今年度からの新たな委託事業として、池田市教育委員会から池田市在日外国人日本語指導支援事業が7月よりスタートした。

併せて、近畿ろうきん NPO アワード奨励金および子どもゆめ基金から助成金を受けて、絵本を使った多文化理解・母語支援活動を実施。絵本を通じて世界のいろいろな言語や文化に出会う「多文化にふれる えほんのひろば 2019」の開催や、絵本「ええぞ、カルロス」の翻訳版を3言語増やして、多言語電子絵本の充実を図った。

外国につながる子どもへの直接支援では、ボランティアによる外国につながる子どもの居場所づくりと学習支援を行う「サタデークラス」を実施した。小・中学生2教室に分かれて、よりニーズに合った支援活動となった。

外国につながる子どもへの高校進学を応援する「Tabunka Juku(たぶんかじゅく)」を大阪市塾代助成事業活用、(一財)教職員障害福祉財団助成金、寄付を受けて実施し、また、「たぶんか高校進学セミナー2019」において進路情報の提供と相談を行い、子どもたちは例年と同じく希望する高校へ合格できた。

2018年度、万博記念事業団より助成金をいただいた調査事業については、19年度に調査報告書を作成し、個人、関係団体等に配布した。また、(財)H2O サンタプロジェクトおよび阪急阪神ホールディング(株)から寄付をいただき、オコタックの活動を実施するための運営経費に使用。

他団体との連携として、今年度3月に国立大学法人大阪大学大学院人間科学研究科・人間科学部と大阪学オムニサイトを活用した共創知の生成と活用に関し、協定を締結した。

2019年度は、例年掲げている「出会い、ふれあい、まなびあい、育ちあう場」の提供と、「つながる」関係者の拡充はもとより、新たな取り組みを通じ、これからの事業への可能性を示唆する1年となった。

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動に関わる事業

(1)(事業名) 大阪府日本語教育学校支援事業「ピアにほんご」(大阪府教育委員会委託事業)

(内 容) 大阪府立高校に学ぶ日本語指導の必要な生徒のための教育支援事業。

教育サポーター派遣、保護者懇談通訳派遣、日本語教育教材、資料の紹介や情報提供、相談員による相談業務・生活オリエンテーション・教育サポーターの交流会の実施。

(実施期間) 2019年4月 ~ 2020年3月

(事業の対象者) 各府立高校

(収 入) 7,718,333円

(支 出) 7,719,831円

(2)(事業名) 池田市在日外国人日本語指導支援事業(池田市教育委員会委託事業)

(内 容) 2019年7月に受託が決まり、池田市立小学校4校と中学校1校に日本語専門講師と大阪大学で日本語専攻している学生のアシスタントを派遣して、日本語指導を行った。同時に、生徒の母語ができるサポーターを学校に派遣。池田市立さくら幼稚園に母語サポーターを派遣。池田市の学校、幼稚園のガイドブック・お便り文書・説明会等の資料の翻訳(英語、インドネシア語)とやさしいにほんご版を作成。

(実施期間) 2019年7月 ~ 2020年3月

(収 入) 3,200,000円

(支 出) 3,200,000円

(3)(事業名) 府内高校生による訪日観光客への案内通訳ボランティア事業

(大阪市ボランティア活動振興基金助成金事業)・・・高校生による地下鉄通訳ボランティア

(内 容) 当事業を開始して5年目であるが、今年度も大阪市ボランティア活動振興基金助成金事業を利用し、生徒の交通費支給などに活用させていただいた。参加校は新たに1校が増え10校となったが今年度は大阪サミットの関係による学校の授業日の変更および、オコタック担当者の体調不良により夏休みの活動、さらに新型コロナウイルスの感染流行により春節期、春休みの活動が中止となり、実際の活動は冬休みと夏季・冬季の初心者研修のみになった。しかし、わずかな期間であったが活動は渡日生の自尊感情を高めると共に、その存在を社会に認知させるという目的はわずかながら達成できたのではないかと考える。

ボランティア活動日数 13日、参加生徒延べ数 138名。

(実施期間) 2019年4月～2020年3月

(事業の対象者) 府内の外国につながる高校生

(収 入) 500,000円

(支 出) 520,642円

(4)(事業名)「多文化にふれる えほんのひろば2019」

(子どもゆめ基金助成金、近畿ろうきん NPO アワード奨励金事業)

(内 容) 大阪市立中央図書館の協力のもと、7回目の開催。絵本を通じて世界のいろいろなお話、言葉、音楽などを楽しんでもらえた。また、読み聞かせや文化紹介等を通して、外国にルーツをもつ高校生や保護者らに母語を使って活躍してもらおう場を提供できた。

(実施日) 10月19日(土)、20日(日)

(収 入) 655,846円 (ゆめ基金 640,000円、近畿ろうきん 15,846円)

(支 出) 667,529円

(5)(事業名) 絵本を使った多文化理解・母語支援活動 (近畿ろうきん NPO アワード奨励金事業)

(内 容) 絵本「ええぞ、カルロス」の翻訳版を3言語増やして、多言語電子絵本(マルチメディア DAISY 版と静止動画絵本)の充実を図った。

(収 入) 184,154円

(支 出) 184,678円

(6)(事業名) 講師・通訳派遣事業および翻訳事業

(内 容) 研修講座の講師、通訳、非常勤講師など、当 NPO が推薦する人材を、自治体、国際交流協会、小・中・高校等に紹介した。また、翻訳事業を行った。

(事業の対象者) 大阪府教育委員会、大阪府内市町村教育委員会、各地国際交流協会、大阪府立高校、府内小・中学校、(株)Kサポート、等

(収入) 324,480円

(支出) 269,157円

(7)(事業名) ヒューライツ大阪との共催事業 外国にルーツを持つ子どもたちの教育課題を考える研修会

(内 容) 外国にルーツを持つ子どもたちの教育課題を考える ～子どもの抱える困難と支援のあり方～

(実施日) 11月30日(土)

(講 師) 山野上麻衣さん(一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程、日本学術振興会特別研究員)

(収 入) 0円

(支 出) 0円

(8)(事業名) 文献・資料の収集と公開、及びリソースセンターとしての環境整備

(内 容) 外国にルーツをもつ子どもたちの教育支援・多文化社会の実現に役に立つ資料・教材や、

多言語の絵本を含む文献を収集して、公開するように整備中。

(収入) 0円

(支出) 0円

(9)(事業名) サタデークラスの運営 (寄付とこども参加費一人年間2,000円)

(内容) 外国につながる多文化なこどもたちに居場所と学習支援の場を提供した。イベント開催はコロナ禍のため、年度末のお祝い会は実施できなかったが、クリスマス会では日頃の学習とは異なる交流が得られた。毎月実施するボランティア体験説明会には、毎回1~5名の参加があった。子どもの参加者数増を受け、ECC 国際外語専門学校社会貢献室のご協力により、小学生用と中学生用の2つの教室で実施し子どもたちのニーズに沿うことができ、高校受験生は全員合格できた。ホームページや facebook などの SNS の活用により情報発信を充実させた。

(実施期間) 2019年4月~2020年2月 毎週土曜日の午後(年間43回)

※3月は緊急事態宣言発令のため活動休止

(事業の対象者) 大阪市内外在住の外国につながる6歳から18歳までの子どもたち

(収入) 78,790円

(支出) 96,585円

(10)(事業名) Tabunka Juku(たぶんかじゅく)

(大阪市塾代助成事業活用、(一財)教職員生涯福祉財団助成金、寄付)

(内容)

・新町校

中国、ネパールルーツの生徒に週2回英語・数学/日本語の教科学習指導を毎週水曜日・金曜日(年間121回、延べ参加数205)を行い、10月27日(日)には、「たぶんか高校進学セミナー2019」を実施(参加数27)し、多言語による進路情報の提供と相談に対応した結果、志望校合格が得られた。

・西淀川区出来島校

Tabunka Juku“Animo“(たぶんかじゅく「アニモ」)では、南米や中国ルーツの子に英語/数学/日本語指導を毎週月曜日(4~10月末29回、延べ参加数155)を行い、私立・公立特別入試・公立一般入試で合格が得られた。近畿弁護士会の見学(11月29日のシンポジウムで資料掲載された)、大阪市教育委員会社会教育課、西淀川区役所、ケーブルテレビベイコム、NHK、毎日新聞、読売新聞等の見学や取材、連携が得られた。記事発信の主なものとしては、フリーライター・ヒトミ・クバーナさんのアニモに関する記事「授業についていけない『外国ルーツの子』の苦悩」(2019年7月18日)が東洋経済オンラインで発信された。

<https://toyokeizai.net/articles/-/292409>

2019年11月より地域性を重視し、西淀川インターナショナルコミュニティーの事業となった。

・四ツ橋校

インターナショナルスクールに通う小学生に日本語指導を毎週火曜日(年間44回、延べ参加数約100)を行い、次第に日本文化に慣れてきた。

(実施期間) 2019年4月~2020年3月

(事業の対象者) 大阪市内外に在住する外国につながる子ども

(収入) 1,866,556円

(支出) 1,747,930円

(11)(事業名) 日本万国博覧会記念基金助成事業の助成金による調査及び報告(昨年度からの継続事業)

(内容) 昨年実施した調査の報告冊子『外国につながる子どもを元気にするための実態調査報告書』を作成し、関係機関、個人等に配布した。母校に在籍する高校生へのインタビュー、アンケートの報告と分析、及び研究者、教員、ボランティア関係者等の報告も掲載した。

(収入) 155,403円

(支出) 450,239円

(12)(事業名)「子どもの夢応援ネットワーク」事業

(内 容) ともにいきるシンポジウム Part3

第1部 ともにいきるシンポ part3 ～佐賀発・子ども&若者応援支援の現場から～

第2部 谷口仁史さん(NPO「スチューデント・サポート・フェイス」)とラボルテ雅樹さん(フィリピンルーツの若者)との対談

第3部 テーブルトーク

(日 時) 12月15日(日)13:30～17:00

(場 所) アネックスパル法円坂7階「なにわのみやホール」

(収 入) 0円

(支 出) 0円

(13)(事業名) 情報発信

(内 容) ホームページや、Facebookなど SNS の活用により情報発信を充実させた。

今年度は諸事情によりニュースレター「OKoTaC(オコタック)通信」は発行できなかった。

(収 入) 0円

(支 出) 0円

(14)(事業名) 企業・関連団体との連携と、NPO「おおさかこども多文化センター」としての実績作り

(内 容) (財)H2O サンタプロジェクトを通じて、オコタックの広報、寄付金の配分をいただいた。

(株)阪急・阪神ホールディングス主催の古本市に参加 売上金を寄付としていただいた。

(収 入) 434,050円(寄付)

(支 出) 0円

(15)(事業名) 会員に向けたセミナー・情報交換会

(内 容) 日米における言語的少数派の生徒にめぐる支援に関する一考察～政策制度とその実践から～

(講 師) 王 一瓊さん(大阪大学言語文化研究科 博士課程後期)

(実施日程) 5月25日(土)10:40～12:00

(参加者) 21名

(事業の対象者) NPO おおさかこども多文化センター正会員および賛助会員、その他希望者

(収 入) 0円

(支 出) 0円

2 その他の事業

2019年度は実施していません。

IV 会員総会の開催状況

第9回通常総会

(日 時) 5月25日(土) 10:00～10:40

(場 所) ヒューライツ大阪 セミナー室

(社員総数) 88名

(出席者数) 51名(うち委任状出席者数33名)

(内 容) 2018年度事業報告、決算報告、監査報告等

役員を選任、2019年度事業計画、予算等

以上のすべての案件が原案通り可決された。

V 理事会その他の役員会の開催

理事会及び臨時理事会 開催回数 3回 5月16日、9月5日、11月21日